



2021年6月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年5月14日

上場会社名 株式会社 自重堂

上場取引所 東

コード番号 3597 URL <https://www.jichodo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 出原 正信

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役業務本部長 (氏名) 富山 英朗

TEL 0847-51-8111

四半期報告書提出予定日 2021年5月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年6月期第3四半期の連結業績(2020年7月1日～2021年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年6月期第3四半期	12,418	4.0	1,423	3.8	1,523	16.1	1,066	14.4
2020年6月期第3四半期	12,936	4.2	1,371	24.5	1,816	9.3	1,245	9.2

(注) 包括利益 2021年6月期第3四半期 1,500百万円 (63.1%) 2020年6月期第3四半期 920百万円 (6.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年6月期第3四半期	369.95	
2020年6月期第3四半期	432.16	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年6月期第3四半期	38,617	32,595	84.4
2020年6月期	38,204	31,962	83.7

(参考) 自己資本 2021年6月期第3四半期 32,595百万円 2020年6月期 31,962百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年6月期		0.00		300.00	300.00
2021年6月期		0.00			
2021年6月期(予想)				300.00	300.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年6月期の連結業績予想(2020年7月1日～2021年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,500	0.2	2,200	19.1	2,350	3.1	1,650	2.9	572.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年6月期3Q	3,230,701 株	2020年6月期	3,230,701 株
期末自己株式数	2021年6月期3Q	347,751 株	2020年6月期	347,710 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年6月期3Q	2,882,986 株	2020年6月期3Q	2,883,026 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する事項は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、2021年1月に2度目の緊急事態宣言が首都圏を中心とした11都府県で発令されたことを受け、外食産業の時短営業をはじめとして、経済活動・社会活動が再び停滞いたしました。医療従事者向けにワクチンの先行接種がスタートし、3月下旬には緊急事態宣言が解除され経済活動の活性化による景気回復が期待される一方で、感染力が強いと言われる新型コロナウイルス変異種の拡大も懸念され、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

ワークウェア業界におきましては、ユーザー企業様の業績回復を受け、ワークウェアの法人需要も昨年と比べると回復し、特に年明けからは更新需要が増加いたしました。

このような状況のもと当社グループにおきましては、従業員の感染防止対策として、交替勤務や時差出勤等により、徹底した三密対策を行ってまいりました。従業員と取引先様の安全確保のため、当社営業マンの取引先への訪問を自粛するとともに、当社ホームページに従来から掲載していた電子カタログに加えて、新たにVR（バーチャルリアリティ）展示会と2021年春夏新商品の商品説明動画を掲載し、新型コロナウイルスの感染拡大により営業活動が制限されている当社販売代理店様のリモート営業をサポートする体制を整え、デジタル化を積極的に推進してまいりました。ワークウェア事業においては、基幹ブランド「JICHODO（ジチョウドウ）」を中心とした法人向け営業においては、企業ユニフォームの更新需要を捕捉するため、商品力はもちろんのこと、ご注文頂いた商品がいつでもすぐに「揃う自重堂」として在庫力やフォロー力といった当社の総合力を積極的にPRし、物件獲得に努めてまいりました。次世代戦略ブランド「Jawin（ジャウィン）」、世界戦略ブランド「Z-DRAGON（ジードラゴン）」を中心とした個人向け営業においては、ユーザー様のニーズを捉えたカジュアルテイストな「かっこいい」ワークウェアの市場展開を強化するとともに、「Jawin（ジャウィン）」ブランドに続き、この春夏商戦より「Z-DRAGON（ジードラゴン）」ブランドにおいても、春夏商品の一部を市場価格にあわせて価格改訂し、更なる受注拡大を図ってまいりました。フットウェア分野においては、新たに市場に投入した高機能・低価格な長靴の販売強化に努めるとともに、デザイン性に加え、価格訴求力、機能性、実用性を追求したセーフティシューズを市場に投入し、既存商品についてもカラーバリエーションを増やして、ワークウェアとの相乗効果による需要の喚起に注力してまいりました。医療用白衣・介護ウェア分野においては、医療従事者の皆様から高い評価を得ている24色展開のスクラブに、更に4色の新色を追加するとともに、「抗ウイルス」・「制菌」・「抗菌防臭」の3つのSEKマークを取得した、高機能・抗ウイルスメディカルウェアの新商品を展開し、医療現場の皆様のご要望に的確にお応えすることで、売上・利益の拡大を図ってまいりました。各部門ともに、コロナ禍においても積極的な営業活動を展開し、需要の喚起、新規流通ルートの開拓により、売上・利益の拡大に努めてまいりました。

生産面におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響による、世界的なコンテナ不足、港湾作業の混乱などにより、資材、製品の輸出入に一部影響が出ておりましたが、海外協力工場との連絡を密にし迅速に対応したことにより、正常化してきております。また、2021年2月には、生産拠点であるミャンマーでクーデターが発生いたしましたが、協力工場の稼働自体に問題はなく、資材・製品の輸出入にも大きな影響は出ておりません。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、「Jawin（ジャウィン）」、「Z-DRAGON（ジードラゴン）」を中心とした個人向け需要が拡大し、新型コロナウイルス感染拡大防止対策の関連商品として、医療用白衣やセーフティシューズも大きく売上を伸ばしましたが、企業ユニフォームの受注については、年明けから回復したものの上半期の売上減を全てカバーするには至らず、売上高は12,418百万円（前年同四半期比4.0%減）となりました。営業利益については、前年同四半期において在庫の積み増しにより増加した物流経費を、当第3四半期連結累計期間においては抑制できたことなどにより、1,423百万円（前年同四半期比3.8%増）となりました。経常利益は、当第3四半期連結累計期間において輸入取引に係る為替変動リスクをヘッジする目的で行っております為替予約取引に係る時価評価によるデリバティブ評価益が前年同四半期に比べ減少したことと、前年同四半期において有価証券売却益153百万円を計上していたことなどにより、1,523百万円（前年同四半期比16.1%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益1,066百万円（前年同四半期比14.4%減）となりました。

なお、当社グループは単一セグメントに該当するため、セグメント情報は記載しておりません。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ412百万円増加し、38,617百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ1,121百万円減少し、27,283百万円となりました。これは主に、現金及び預金が2,914百万円、流動資産その他が194百万円増加したことと、受取手形及び売掛金が1,564百万円、商品及び製品が2,124百万円、原材料及び貯蔵品が545百万円減少したことなどによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ1,534百万円増加し、11,334百万円となりました。これは主に、建物及び構築物(純額)が655百万円、有形固定資産その他が324百万円、投資有価証券が630百万円増加したことと、繰延税金資産が146百万円減少したことなどによるものであります。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ245百万円減少し、4,798百万円となりました。これは主に、未払金が306百万円、流動負債その他が214百万円増加したことと、支払手形及び買掛金が143百万円、短期借入金が480百万円減少したことなどによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ25百万円増加し、1,223百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ633百万円増加し、32,595百万円となりました。これは主に、利益剰余金が199百万円、その他有価証券評価差額金が438百万円増加したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、2021年4月末には3度目となる緊急事態宣言が発令されましたが、ワクチン接種がスタートしていることや、米国の大規模景気対策により世界的な景気回復も想定されることなどから、今後、経済活動・社会活動は徐々に活性化するものと見込まれます。ワークウェア業界においては、ユーザー企業様の業績回復に伴い、ユニフォームの更新需要の更なる増加が期待されます。一方、新型コロナウイルス変異種の感染拡大が懸念されるなど、新型コロナウイルス感染症の収束には今しばらく時間を要するものと思われることなどから、依然として不透明な状況が続くものと思われま

す。このような環境の中、当社におきましては、取引先様と従業員の安全を最優先として引き続き感染防止対策を徹底してまいります。コロナ禍における新常态・ニューノーマルに適応して、デジタルツールを活用したリモート営業を引き続き強化するとともに、豊富な在庫を武器に、回復してきている企業向けユニフォームの受注拡大を図ってまいります。また、全社的に経費削減を徹底し、利益の確保に努めてまいります。

以上のような活動を推進することにより、2021年6月期通期の連結業績予想は、売上高18,500百万円(前連結会計年度比0.2%増)、営業利益2,200百万円(前連結会計年度比19.1%増)、経常利益2,350百万円(前連結会計年度比3.1%増)、親会社株主に帰属する当期純利益1,650百万円(前連結会計年度比2.9%増)を見込んでおります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,516,533	6,431,108
受取手形及び売掛金	5,079,984	3,515,566
商品及び製品	17,646,423	15,522,280
仕掛品	4,598	5,651
原材料及び貯蔵品	1,902,575	1,357,151
その他	259,666	453,817
貸倒引当金	△4,799	△2,355
流動資産合計	28,404,982	27,283,220
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	1,502,136	2,157,885
土地	4,464,565	4,483,087
その他 (純額)	133,028	457,252
有形固定資産合計	6,099,731	7,098,225
無形固定資産	92,940	64,258
投資その他の資産		
投資有価証券	1,883,934	2,514,380
関係会社出資金	109,193	110,920
繰延税金資産	245,489	98,687
その他	1,420,326	1,498,952
貸倒引当金	△51,988	△51,179
投資その他の資産合計	3,606,955	4,171,759
固定資産合計	9,799,627	11,334,243
資産合計	38,204,609	38,617,463

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,694,720	1,551,299
短期借入金	2,500,000	2,020,000
未払金	257,938	564,509
未払法人税等	258,518	191,387
返品調整引当金	51,692	38,034
賞与引当金	125,160	63,180
その他	156,286	370,340
流動負債合計	5,044,316	4,798,750
固定負債		
退職給付に係る負債	555,679	564,033
繰延税金負債	—	30,147
その他	642,603	629,169
固定負債合計	1,198,282	1,223,350
負債合計	6,242,598	6,022,101
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,982,499	2,982,499
資本剰余金	1,828,530	1,828,530
利益剰余金	28,351,035	28,550,892
自己株式	△1,717,227	△1,717,488
株主資本合計	31,444,837	31,644,433
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	498,556	937,068
為替換算調整勘定	△6,043	△6,949
退職給付に係る調整累計額	24,660	20,809
その他の包括利益累計額合計	517,173	950,929
純資産合計	31,962,010	32,595,362
負債純資産合計	38,204,609	38,617,463

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2021年3月31日)
売上高	12,936,279	12,418,965
売上原価	8,971,197	8,459,248
売上総利益	3,965,081	3,959,716
販売費及び一般管理費	2,593,700	2,536,436
営業利益	1,371,381	1,423,280
営業外収益		
受取利息及び配当金	39,452	35,659
為替差益	9,185	—
有価証券売却益	153,364	—
受取賃貸料	59,387	57,191
デリバティブ評価益	166,796	9,807
持分法による投資利益	—	2,633
その他	54,414	25,708
営業外収益合計	482,601	130,999
営業外費用		
支払利息	2,674	5,290
賃貸収入原価	25,431	23,885
為替差損	—	1,316
持分法による投資損失	9,441	—
その他	5	20
営業外費用合計	37,553	30,512
経常利益	1,816,429	1,523,767
特別利益		
固定資産売却益	—	16
特別利益合計	—	16
特別損失		
固定資産除売却損	0	5,475
特別損失合計	0	5,475
税金等調整前四半期純利益	1,816,429	1,518,308
法人税、住民税及び事業税	525,568	466,984
法人税等調整額	44,920	△15,240
法人税等合計	570,488	451,744
四半期純利益	1,245,941	1,066,564
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,245,941	1,066,564

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2021年3月31日)
四半期純利益	1,245,941	1,066,564
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△309,319	438,512
為替換算調整勘定	△12,463	△905
退職給付に係る調整額	△4,074	△3,850
その他の包括利益合計	△325,857	433,755
四半期包括利益	920,083	1,500,319
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	920,083	1,500,319

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自2019年7月1日至2020年3月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自2020年7月1日至2021年3月31日)

当社グループは、衣料品製造販売を行う単一セグメントであるため、記載を省略しております。